

せいけん
詩集

第五十一篇

作：近藤せいけん

「ふんぐら」

「あなたの ふるさととはどこですか」

「私のふるすとは、ここです」

「いいですね この地」

生まれた地 育った地 それがふるさと

「でも 私は こう思っています」

生まれ育った地 以外でも 移り住んで

この地がいい この地をふるさとにしようと

心で決めた地 それを

「私はふるさと呼びます ふるさとは自分の

心で決めるものだと思っています」

「私はこの大山が見える この相模の地を

ふるさとに 決めました」

大山 相模川 中津川 小鮎川 小田急線本厚木駅

町村 人家族 友 自然 風土 光 流れる雲 全てが

「私のふるさと 私を愛する地 私の空気です」